
とても短いラブレター

茅野 遼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とても短いラブレター

【Nコード】

N4391H

【作者名】

茅野 遼

【あらすじ】

私を大切に思ってくれている人への、タイトル通りの短い手紙です。超短編を書いてみたくて投稿してみようと思いました。

（前書き）

私と貴方のお手紙小説？です。 思い付きで投稿してしまいました。

貴方は、覚えていますか？ 私達が初めて出会った、あの日のことを……。

私は忘れません。

貴方と初めて目が合った瞬間。 貴方の声を初めて聞いた、あの時の空気の柔らかさ……。

初めはこんな風になるなんて思いも寄らなかった。 私には、ただ他に気になる人が居て、けれど、心の中の順番が一瞬で入れ替わった時。

他人はきつと、それを一目惚れと言うのでしょうか。

私には、直にはピンと来なかった出会いだったのだけれど、あれからまだ、ほんの三ヶ月。

貴方からの好意を感じる事が出来て、初めて気付いた、鈍感な私でした。

始めて行ったデートコースも、今ではもう思い出となっています。

たった、三ヶ月前なのに。 もう随分昔から、貴方の事を知っていたかの様な錯覚。

今、二人は結婚を意識して動き出しました。

これからどうなっていくのか？ 二転三転する先の条件に、少しの戸惑いを覚えながら、それでも貴方を信じて生きようと、心に決めました。

「いいよ、貴方の思い通りで。 私はついて行くと決めたのだから」。

貴方の思いは、たった一つ。 「何時も一緒にいたいから、だから結婚しよう」。

そう言ってくれました。

だから、信じます。 私も、貴方と一緒に生きて行きたいから。

二人で一緒になら、幸せになる方程式は、きっと見付かります。

今はただ、何もしなくても流れていってしまう、時に、やらなければならない事が山積みだけれど、二人でなら、きっと乗り越えられます。

だから、これからも貴方の事を信じさせてください。
貴方も、私の事を信じていてください。

信じる力は、きっと凄いパワーを持っている筈だから。

今はただ、これから先の二人の未来に、乾杯をしましょう。

D e a r 私のフィアンセ様。

これからも、ずっと私を好きで居てください

いね。

（後書き）

ご一読、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4391h/>

とても短いラブレター

2010年10月15日16時32分発行